

授業科目名	【G】	憲法(人権)Ⅱ	区分 選択	開講年次	【G】2	単位数	【G】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	基本的人権各論			担当者	小林 伸一			
授業概要	【概要】	日本国憲法15条から40条までに保障されている主要な人権について、通説的な学説に即して講述する。						
	【到達目標】	主要な人権の具体的内容と限界(人権制約の違憲審査基準)を修得する。						
履修条件	本講義は、受講生全員が憲法概論の単位を取得していること、並びに憲法人権Ⅰの単位を取得していることの2点を前提に進める。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	本講義は、憲法(人権)Ⅰの応用編である。また、本講義では、人権制約の違憲審査基準にも比重を置くため、81条所定の違憲立法審査制について詳説する憲法(統治)Ⅱと密接に関連する。							
教科書	芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法 第八版』(岩波書店2023年) 適宜、Google Classroom上に講義レジュメを提示する。							
参考書	高橋和之著『立憲主義と日本国憲法第5版』(有斐閣 2020年) 大林啓吾・手塚崇聡・小林祐紀編著『基礎演習ゼミ 憲法』『基礎演習ゼミ 憲法』(みらい 2024年)							
評価方法	google classroom上に2回にわたり課題を提示し、その解答文を基にして成績評価を行う。							
フィードバック方法	講義内容について質問や意見がある場合には、google classroom上のメールで投稿すること。取捨選択の上で回答する。							
評価基準	本講の趣旨・内容を十二分に理解し、そのことが課題に対する解答文に顕著に表れている受講生は、「S」または「A」とする。講義内容についての理解が必ずしも十分とはいえず、しかも解答の表現が的確とはいえない受講生は、その程度に応じて、「B」または「C」とする。講義内容に対する理解が明らかに不十分で、しかもそのことが解答の内容・表現に如実に表れている受講生は、その程度に応じて、「D」または「E」とする。正当な理由なく解答未提出の受講生は、「F」とする。							

授業科目名	【G】 憲法(人権)Ⅱ	区分		開講年次	【G】2	単位数	【G】2
		選択					
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス 憲法(人権)Ⅰの復習と補完						
	予習:	公共の福祉に関する101頁～109頁		復習:	一元的内在制約説 比較衡量論 二重の基準論		
2	思想及び良心の自由						
	予習:	160頁～1164頁		復習:	内心の自由 沈黙の自由 君が代起立斉唱拒否事件 一般的法義務 間接的制約		
3	信教の自由						
	予習:	164頁～170頁		復習:	信仰の自由 宗教的行為の自由 剣道実技拒否事件		
4	政教分離原則						
	予習:	171頁～181頁		復習:	目的効果基準 津地鎮祭事件 空知太神社事件		
5	表現の自由の具体的内容						
	予習:	189頁～211頁		復習:	表現の自由の価値 報道の自由 取材の自由 博多駅テレビフィルム事件 チャタレー」事件		
6	表現の自由の限界						
	予習:	211頁～232頁		復習:	内容規制・内容中立規制 事前抑制の理論 明確性の理論 LRAの基準 税関検査事件		
7	職業選択の自由						
	予習:	245頁～252頁		復習:	規制目的二分論 小売市場事件 薬事法事件 要指導医薬品対面販売規制事件		
8	財産権						
	予習:	255頁～259頁		復習:	私有財産制度 森林法事件 証券取引法事件		
9	損失補償						
	予習:	260頁～263頁		復習:	特別犠牲説 相当補償説 完全補償説		
10	刑事手続き上の人権						
	予習:	264頁～278頁		復習:	適正手続の原則 緊急逮捕 一事不再理 二重の危険		
11	国務請求権						
	予習:	279頁～282頁		復習:	裁判を受ける権利 訴訟事件の裁判 非訟手続による審判		
12	参政権						
	予習:	283頁～289頁		復習:	選挙権に関する二元説 普通選挙の原則 平等選挙の原則		
13	生存権						
	予習:	290頁～294頁		復習:	プログラム規定説 抽象的権利説 朝日訴訟 堀木訴訟		
14	教育を受ける権利						
	予習:	296頁～299頁		復習:	国家教育権説 国民教育権説 旭川学力テスト事件		
15	労働基本権						
	予習:	299頁～304頁		復習:	公務員の争議行為の自由 合憲限定解釈 都教組事件 全農林警職法事件		
その他	受講生は、Googleclassroom上に提示される講義レジュメや資料をダウンロードしプリントアウトできるようネット環境を整えること。 予習・復習は、各120分程度を目安としてください。						